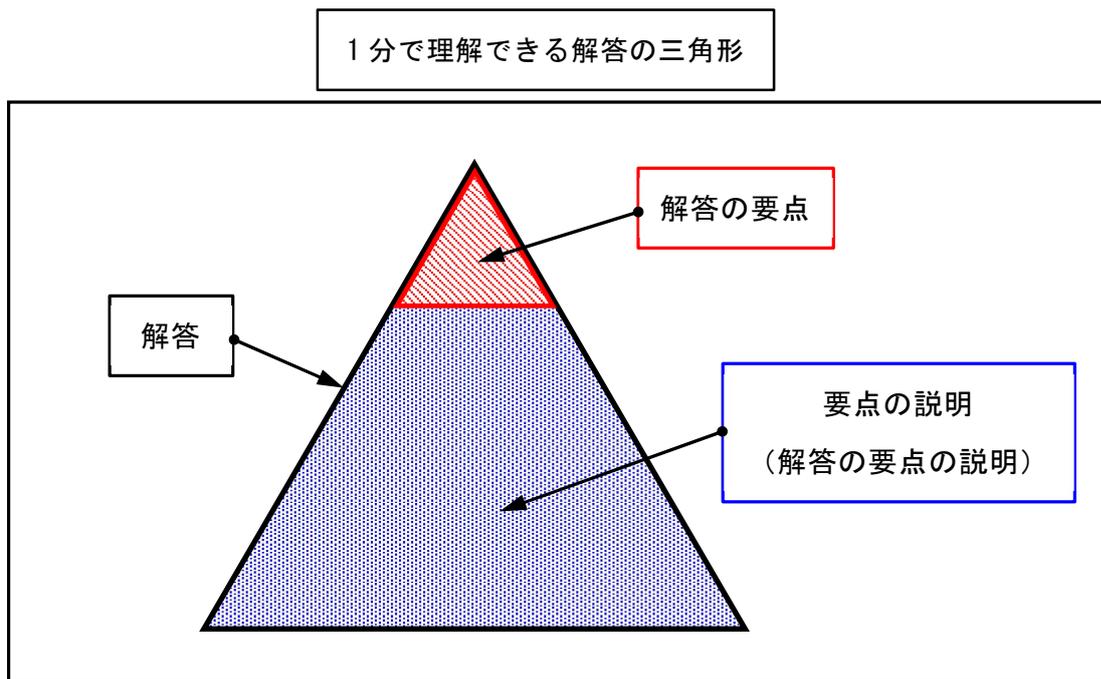


【「1分で理解できる解答」の構成を図形で考える】

「1分で理解できる解答」の構成を図形で考えると「1分で理解できる解答」の内容がわかりやすくなります。そこで、「1分で理解できる解答」の構成を図形で考えてみます。

1. 「1分で理解できる解答」の構成を図形で表す

「1分で理解できる解答」の内容は以下のような三角形で表すことができます。



ここで、「1分で理解できる解答の三角形」は以下のような構成になっています。

- ①解答：黒い枠の三角形の全体
- ②解答の要点：赤い三角形の部分
- ③要点の説明：青い台形の部分

1分で理解できる解答とは、以下の2つの要件を満たすものです。

- 「解答の要点」と「要点の説明」が書いてある解答
- 解答の要点が解答の冒頭に書いてあり、要点の説明がその後に書いてある解答

「1分で理解できる解答の三角形」を見ると、この2つの要件を満たすのが「1分で理解できる解答」であることがわかります。

2. 具体的な例との対応

例えば、「在宅勤務の問題を1つ述べよ」という問題に対して以下のような解答を書いたとします。

在宅勤務の問題は、情報漏洩の危険性が出てくることである。会社内で仕事を行う場合には、社内のセキュリティによって会社内にある情報が外部に流出する可能性は小さい。しかし、在宅勤務になると、自宅で使うパソコンのセキュリティが会社のセキュリティに比べて脆弱になる。そのため、在宅勤務によって情報が外部に流出する危険性が出てくる。

「1分で理解できる解答の三角形」との対応で考えると、黒枠内の全体が「解答」、赤字の部分が「解答の要点」、青字の部分が「要点の説明」です。

「1分で理解できる解答の三角形」では、要点の説明（青い台形の部分）は解答の要点（赤い三角形の部分）を支える形になっていますが、この問題の解答でも、要点の説明（青字の部分）は解答の要点（赤字の部分）を支える（説明する）内容になっています。

3. 「1分で理解できる解答の三角形」を考える

1分で理解できる解答の書き方で解答を書く場合には、まず、「赤い三角形の部分（解答の要点）とは何か？」を考え、解答の要点が決まったら青い台形の部分（要点の説明：赤い三角形を支える部分）を考えてください。

1分で理解できる解答の書き方のトレーニングとして、日常業務の中で「書き方1：要点を冒頭に書く」^{注1)}を使って技術文書を書く場合にも同じような三角形を考えてください。この場合には以下ようになります。

- ①文章のかたまり：黒い枠の三角形の全体
- ②内容の要点：赤い三角形の部分
- ③要点の説明：青い台形の部分

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『“1分で理解できる解答”の書き方』の概要』の資料を参照のこと

以 上